

質疑応答表

No.	資料名称	該当項目	質問内容	回答
1	業務委託仕様書	3. 業務内容 (1) マッチング支援 ① 対象課題の絞り込み	<ul style="list-style-type: none"> 対象課題の絞り込みとはどのような状態になることを想定していますか。 対象課題の絞り込みの際に、鹿児島市として優先する基準等がありますか 	<p>絞り込みとは、庁内で募集する課題の中から、コーディネート業務で取り扱うことで効果的に解決が図れると思われる課題を抽出することを指します。</p> <p>令和7年度は、庁内の事業課から募集した課題について、課題を取り巻く現況や解決策の方向性の有無、スケジュール(事業化の目標時期)など課題の詳細な状況のほか、事業課の意向も踏まえ、受託事業者とともに絞り込みを行うことを想定しています。</p> <p>絞り込みに際して明確な基準等は定めていませんが、課題に対する解決策の方向性が明確になっており、具体的な解決策の提案を求めているもの(早期の事業化を目指すもの)や、方向性が定まっておらず、事業化の前段階として幅広くアイデアを求めるもの(中長期的に事業化を目指すもの)が混在した状態となることを想定しています。</p>

No.	資料名称	該当項目	質問内容	回答
2	業務委託仕様書	3. 業務内容 (2) 伴走型支援 ② 事業化に向けた 担当課の支援	課題の深掘り、フォローアップ等に関して、具体的なコミュニケーション方法について想定していることはありますか。	担当課と企業との間での事業化に向けた検討段階での進捗管理や相談対応をしていただきます。手法としては、対面またはオンラインによる面談を想定しています。
3	業務委託仕様書	—	本事業におけるK P I や今後の鹿児島市としての展望等があればご教示ください。	K P I として、企業からの提案資料の提供件数および面談件数の設定を想定しています。 なお、K G I については、課題の詳細な状況によってゴールも異なるため、全課題一律の指標設定とせず、個別に検討します。
4	—	—	令和6年度の「官民連携プラットフォームコーディネート業務」において、コーディネートが実施された件数や、事業化に至った提案数などの実績概要を教えてください。	令和6年度は、本市から受託業者に提示した7件の課題に対して計21件の資料提供があり、計15回の面談を行いました。 1課題について事業化(実証実験)に至っています。 その他、本市の市政課題や国の動向等を踏まえ、受託業者が自主提案したテーマについての面談も実施しています。